専大スポーツ
【専大スポーツ】https://www.senshu-u.ac.jp/sports/
No.460

第64回体育会表彰式

2024年度に国内外の大会で優秀な成績を収めた部や個人を表彰する第64回体育会表彰式が3月15日、生田キャンパスで開催され、20団体・337人（重複含む）の栄誉をたたえた。

最優秀団体賞　スピードスケート部　バレーボール部

最優秀選手賞　菊池　出澤　甲斐　原田　高萩

スピードスケート　卓球　バレーボール　ボクシング　ローラースケート

最優秀団体・選手賞を受賞した選手たちと大学関係者

最優秀団体賞に輝いたのは、大学日本一を勝ち取ったスピードスケート部とバレーボール部。

2年連続の受賞となったスピードスケート部の三井晃太主将（経営4・東京都市大塩尻高）は「部では文武両道を大事にし、その上で世界にチャレンジすることを目標としてきた。そういった取り組みが、団体や個人での好成績につながったのだと思う」と話した。

バレーボール部の竹内慶多主将（経済4・啓新高）は「こういった式に呼ばれることは誇らしい。悔しい思いをすることもあったが、最後を優勝という形で締めることができて本当に良かった」と、1年間を振り返った。

最優秀選手賞は、日本代表としてパリ五輪に出場した甲斐優斗（経営3・日南振徳高＝バレーボール）、原田周大（法4・豊国学園高＝ボクシング）、全日本学生選手権を制した菊池健太（経営4・白樺学園高＝スピードスケート）、出澤杏佳（文4・大成女子高＝卓球）、高萩紗ら（文4・光丘高＝ローラースケート）の5人が選ばれた。

甲斐は、「団体、個人でともに最優秀賞に選ばれて誇りに感じる。次のオリンピックに向けて、残りの大学生活も取り組んでいきたい」と語った。

最優秀新人賞は、国内外の大会で結果を残したスピードスケート部の辻本楓芽（経営1・白樺学園高）が受賞した。（知地泰雅・文2）

3人に川島記念特別功労賞

パリ五輪に出場した原田周大と甲斐優斗、冬季ワールドユニバーシティゲームズで金メダルを獲得したスキー部の坂井冠太（経済4・十日町高）の3人が川島記念特別功労賞を受賞した。

体育会表彰式に合わせて授与式が行われ、代表して甲斐に川島記念会会長の松木健一理事長から賞状が、佐々木重人学長から記念メダルが贈られた。

受賞団体・選手

学生の敬称略。カッコ内は部名。★は新人賞、●は校友会学生奨励賞の受賞者。

【最優秀団体賞・校友会賞】
▽スピードスケート部●
▽バレーボール部●

【優秀団体賞】
▽ゴルフ部（男子）
▽水泳部（水球）
▽卓球部（男子）
▽卓球部（女子）
▽馬術部
▽フェンシング部（男子）
▽フェンシング部（女子）
▽ボウリング部

【敢闘団体賞】
▽アーチェリー部
▽バスケットボール部（男子）
▽レスリング部
▽ローラースケート部

【最優秀選手賞・育友会賞】
▽菊池健太●（スピードスケート）
▽出澤杏佳●（卓球）▽甲斐優斗●（バレーボール）▽原田周大●（ボクシング）▽高萩紗ら●（ローラースケート）

【最優秀新人賞・優秀選手賞・育友会賞】
▽辻本楓芽●（スピードスケート）

【優秀選手賞】
▽福住修●（ゴルフ）▽坂井冠太●（スキー）▽谷垣優斗●▽三井晃太●▽笠原光太朗●▽軍司一冴●（以上スピードスケート）▽栩内陽向●（相撲）▽鈴木梨子●（テニス）▽淺野ケニー●▽佐藤寛太●▽瀬川怜奈●（以上バスケットボール）▽齋藤華南●（フェンシング）

【殊勲選手賞】
▽小田祥平（ゴルフ）▽鎌倉啓太郎（柔道）▽久保飛雅▽牧野桃▽長岡歓平▽山川伶欧▽佐藤めだる▽福士愛香★▽吉田心夢★（以上スキー）▽井出雄斗▽高見澤匠冴▽笹渕遥人▽林拓磨▽佐藤哲太★▽立花英太郎★（以上スピードスケート）▽アリユンエルデネ・スフバット（相撲）▽福田雅子▽鈴木碧衣▽首藤成美★▽福井蓮彩★（以上卓球）▽石田滉樹▽川口航矢（以上馬術）▽松野遥弥▽介川アンソニー翔（以上バスケットボール）▽井出脩斗▽水野永登（以上バレーボール）▽大谷謙介（フェンシング）▽山本耀平（ラグビー）▽渡部泰世▽西田衛人▽佐藤大斗▽伊藤翔哉▽高原崇陽▽向田旭登▽上村律心▽石原弘幸▽松村祥太郎▽徳原誠馬（以上レスリング）▽山田有晏▽會田倫太郎▽浦田大暉（以上ローラースケート）

【敢闘選手賞】
▽守安祥輝（剣道）▽竹村健太▽高橋秀昌▽濱田航輔★（以上準硬式野球）▽野田颯太▽木塚陽斗★（以上卓球）▽宮西佑亜▽武南友陽★（以上馬術）▽市場脩斗▽土屋来嵐（以上バスケットボール）▽堺爽人（バレーボール）▽市村唄菜▽小川瑞葵（以上ローラースケート）

【日本新記録賞】
▽高萩紗ら

【功労賞】
▽増子惠一氏（柔道部部長）
▽松原朗氏（少林寺拳法部部長）
▽遠山浩氏（ラグビー部部長）
▽児玉茂氏（バスケットボール部（女子）監督）
▽海老原康彦氏（準硬式野球部監督）
▽立山貴生氏（ハンドボール部監督）

【学生功労賞】
▽二瓶優太（体育会本部委員長）▽石塚颯太▽堀野愛斗▽久保田さくら▽徳本健太（以上体育会本部）▽河上明来海（体育会本部情宣局編集長）▽小林佑太朗（ゴルフ）▽古谷彩夏（水泳・水球）▽韮塚昭夫（馬術）▽戸田憲伸（ボウリング）▽西川尚輝（剣道）▽宮川博登（ラグビー）

【感謝状】
▽学生自治会▽全學應援團

【特別賞（体育会OB・OG会賞）】
団体の部▽ゴルフ部▽馬術部▽アーチェリー部
個人の部▽坂井冠太

専大スポーツ編集部公式WEB
掲載記事を含む全文はコチラ↑
X @sensuponow
Instagram sensuponow

有終の美　牧野　準優勝

アルペン・女子回転

全日本学生スキー選手権大会＝2月18～23日、青森県・大鰐温泉スキー場

牧野桃（商4・八海高）が、アルペン女子回転種目で準優勝した。

大学で競技引退を決めていた牧野は「さまざまな思いが込み上げるなか、2本とも自分の滑りをすることができた。優勝には届かなかったものの有終の美を飾ることができた。支えてくれた人たちに恩返しができたと思う」と満足した様子。

今大会では、福士愛香（経済1・東奥義塾高）が女子15キロクラシカルで3位。男子では、クロスカントリーの4×7・5キロリレーで久保飛雅（法4・盛岡南高）、坂井冠太、長岡歓平（経済3・倶知安高）、佐藤めだる（法2・十日町高）組が3位となった。（知地）

準優勝を喜ぶ牧野

八木健闘　5位入賞

全日本大学個人ボウリング選手権大会＝2月17～19日、神戸市・神戸六甲ボウル

女子の部にボウリング部の八木彩夏（経済4・必由館高）が出場。大学チャンピオンの座を目指し、予選12ゲーム、準決勝6ゲーム、決勝3ゲームを戦い抜き、5位入賞と健闘した。

81kg級――鎌倉が制す

全日本学生柔道ウインターチャレンジトーナメント＝2月15～16日、奈良県・天理大学

鎌倉啓太郎（経営2・習志野高）が81kg級で優勝した。

73kg級を制した昨年から階級を上げ、2年連続優勝を達成した鎌倉は、「しんどい試合が多かったが、取り組んできたことが形になった。これからも全日本学生選手権や講道館の優勝を目標にコツコツ毎日やっていく」と語った。（知地）

アジア冬季競技大会　スピードスケート競技・チームパシュート

笠原　銅メダル

メダルを獲得したチームパシュートのメンバー。右が笠原、左が蟻戸選手

第9回アジア冬季競技大会（2月7～14日、中国）のスピードスケート競技にスピードスケート部の笠原光太朗（経営3・帯広三条高）が日本代表のメンバーとして参加。OBの蟻戸一永さん（令6経営・滋賀県スポーツ協会）を含めた3人で出場したチームパシュートで銅メダルを獲得した。

大雪の影響で出国が遅れ、調整期間が十分でない中でのレースとなった。1500㍍では7位に入賞したが、「個人種目では満足のいく結果を出すことができなかった。最終日のチームパシュートは、必ずメダルを取るという強い気持ちを持ってレースに挑んだ」と話す。

「チームパシュートは3人の滑りをそろえることが必要不可欠な種目。隊列やラップタイムなど細部まで調整し、質の良い練習ができたことがメダルにつながった。団結して最高のパフォーマンスができた上での入賞だったので、とてもうれしい」と振り返った。

「先輩である蟻戸さんからは、スケーティング技術はもちろん、さまざまなことを学んだ」と言う笠原。新年度に向けて、「2026年にはミラノ冬季オリンピックがある。私自身、スケート人生の最大の目標としている場所なので、夢の舞台に向けて精進していきたい」と意気込んだ。

OB森重さん　銀メダル獲得

OBの森重航さん（令5経営・オカモト）が、500㍍で銀メダル、チームスプリントで銅メダルを獲得した。（藤林利英・文1）